

## 川崎市の環境課題を解決する共同研究者を募集します

～令和8年度 環境技術産学公民連携共同研究事業 公募型共同研究者募集～

市民生活に影響の大きい気温上昇等、気候変動への対応は喫緊の課題であることから環境総合研究所では「脱炭素社会の構築」に関する研究分野を中心に、川崎市の環境課題を解決する共同研究者を令和8年度も募集します。

環境技術産学公民連携共同研究事業は、企業・大学・研究機関等の有する先進的な環境技術やネットワークなどに、川崎市が研究に必要なフィールド等の資源を提供することで、産学公民の各主体が持つ強みを活用し、地域課題の解決に向け共同研究を実施するものです。

この事業は平成19年度から開始し、令和7年度は共同研究を9件実施しており、共同研究から得られた環境技術・環境研究の市内集積や研究成果による市内の環境改善を目指しています。

令和8年度の募集概要は以下のとおりです。

### 1 募集対象事業

「脱炭素社会の構築」、「循環型社会の構築」、「自然共生型社会の構築」、「安全・安心で質の高い社会の構築」の4分野のいずれかに該当し、研究成果が市内に還元でき、地域の環境改善につながる等が期待できるものとします。

そのうち「脱炭素社会の構築」に該当する研究テーマ（再生可能エネルギーの普及拡大に資する技術開発・実証など）は、審査時に加点評価します。（詳しくは以下ホームページを参照）

なお、申請いただいた企画提案の内容について審査を実施し、共同研究者を決定します。

※今年度は3件程度採択する予定です。

### 2 申請対象者

企業、大学、研究機関等とし、いずれも法人格を有するもの（川崎市外の法人も可）

※申請に当たり、別途資格要件を定めています。詳細は以下のホームページを御確認ください。

### 3 募集期間

令和8年3月23日（月）～5月15日（金）（必着）

### 4 研究期間

令和8年6月中頃～令和9年3月

※本研究事業は、申請当初に設定した研究スケジュールに基づき、最長で令和10年度末まで研究を継続実施することができます。（次年度以降の研究実施には、年度ごとに実施する継続審査にて継続が認められる必要があります。令和10年度末までの研究実施を保証するものではありません。）

### 5 研究費用

上限税込200万円の範囲内で研究を委託します。

### 6 申請方法

事前相談の上、申請書類を環境総合研究所に提出

以下のURL又は二次元コードからホームページを御参照ください。

<https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000127525.html>



【問合せ先】

川崎市環境局環境総合研究所 小木曾（こぎそ）  
電話 044-276-8964

【研究分野】

国内外で気候変動問題への関心や危機感が高まっていることから、「脱炭素社会の構築」に該当する研究を審査時に加点し、積極的に募集・採択します。

脱炭素社会の構築

脱炭素・温暖化対策に関するもの等

・再生可能エネルギーの普及に関する研究や省エネを実現するための技術開発 など

循環型社会の構築

資源循環に関するもの等

・廃棄物の有効利用に関する研究  
・プラごみ削減に向けた新素材の開発 など

自然共生型社会の構築

生物多様性・環境保全に関するもの等

・未利用地を活用した緑化推進に関する研究  
・都市部の自然環境保全に関する研究 など

安全・安心で質の高い社会の構築

環境リスクの低減に関するもの等

・化学物質の保管設備の点検手法に関する開発  
・熱中症対策に関する製品や技術開発 など

【活用イメージ】



共同研究者

技術はあるけど  
実証フィールドに困っている...。  
研究費用が足りない...。

川崎市のフィールドを  
使いませんか？  
年間上限200万円で  
研究を委託します！

川崎市



共同研究事業の  
紹介動画はこちら



【実施中の共同研究事業の一例】

太陽光と光触媒によるアオコの不活化・除去プロセスの解明と水質浄化技術の開発

共同研究者：国立大学法人東京科学大学・株式会社近藤工芸

脱炭素社会の構築

自然共生型社会の構築

【研究内容】

太陽光エネルギーを電気に変換することなく水質浄化に直接活用するための基盤的知見と技術の最適化を目的として、太陽光照射による光触媒反応の効果と可能性の定量評価を行い、それに基づいた現地浄化技術を開発します。

【要望・フィールド提供】

アオコの不活化・除去などの水質浄化の効果を確認するためのフィールドを探しているという要望があり、川崎市内のアオコが発生しやすい閉鎖性水域を試験場所として提供しています。

【得られる効果、成果、展望】

この研究を通して、国内外の水環境におけるアオコ対策及び気候変動の緩和策への貢献を目指します。



アオコが発生しやすい閉鎖性水域例



水質浄化イメージ図